

Subject: たんぽぽ舎です。【TMM:No4239】地震と原発事故情報—6つの情報をお知らせします

From: たんぽぽ舎 (nonukes@tanpoposya.net)

To: kumamoto84@yahoo.co.jp;

Date: 2021/7/5, Mon 21:28

たんぽぽ舎です。【TMM:No4239】

2021年7月5日(月)地震と原発事故情報—

6つの情報をお知らせします

転送歓迎

-
- ★ 1. 中国電力のボーリング調査は、全く進まず
補償が必要な権利者を利害関係人に含めないゴマカシ
祝島漁民の権利は何故強いのか
民の日々の営みが権利を創る
民に徹すれば公よりも強くなる
連載「権利に基づく闘い」その18
熊本一規 (明治学院大学名誉教授)
 - ★ 2. 稼働中原発は9基…玄海3、玄海4、川内1・2、美浜3、
大飯3・4、高浜3・4(美浜、大飯、高浜は関西電力、
他は九州電力)
2021年7月5日現在の原発稼働状況
山崎久隆 (たんぽぽ舎共同代表)
 - ★ 3. 7/7(水)東電本店合同抗議集会に七夕(天の川)キラキラを準備
浜島高治 (神奈川県在住)
 - ★ 4. 伊方原発で判明した「宿直勤務者の無断外出」について
「伊方から原発をなくす会」が四国電力に抗議文…ほか
メルマガ読者からの原発等情報2つ(抜粋)
黒木和也 (宮崎県在住)
 - ★ 5. メルマガ読者からのイベント案内(お問い合わせは主催者へ)
◆7/17(土)オンライン被ばく学習会 (第68回)
水俣病に学ぶ 甲状腺がんの因果関係
講演: 津田敏秀さん (岡山大学大学院・教授)
 - ★ 6. 新聞より2つ
◆九州電力大分支社前 毎日行動10年
大分県の島田雅美さんの毎日スタンディング
賛同する市民20人がかけつけた
(7月5日「赤旗」より抜粋)
◆ワクチン供給量 急減 千葉市は予約停止
自治体混乱「来週在庫切れ」「会場確保したのに」
19日からの配分 要望の2割
(7月3日朝日新聞朝刊27面「ちば首都圏」より見出し)

※7/7(水)2つの抗議行動にご参加を!

2つの抗議行動 = 定例→毎月第1水曜

(6月から9月は夏時間となり開催時間の延長あり)

- 1. とめよう! 東海第二原発 20年運転延長・再稼働ゆるすな!
日本原電本店抗議行動

茨城県東海第二原発の再稼働工事を止めよ！

日 時：7月7日(水)17:00より18:00(夏時間です)
場 所：日本原電本店前(住友不動産秋葉原北ビル 台東区上野5-2-1)
銀座線末広町駅4番出口より4分
※北ビルです！南ビルではありません！
主 催：「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」TEL 070-6650-5549
協 力：「再稼働阻止全国ネットワーク」

2. 「第94回東電本店合同抗議」放射能汚染水を海へ捨てるな！
東電は2200億円の原電支援するな！
東電は福島第一原発事故の責任をとれ！

※菅井益郎さん(国学院大学名誉教授)の発言も予定

日 時：7月7日(水)18:45より19:45(夏時間、20:00になる時も)
場 所：東京電力本店前(千代田区内幸町1-1-3)
呼びかけ：「経産省前テントひろば」070-6473-1947
「たんぼぼ舎」03-3238-9035
賛 同：東電株主代表訴訟など139団体

※7/12(月)岩垂弘氏連続講座にご参加を！
社会運動は社会を変えられるか
戦後76年を社会運動を通じて顧みる「8回連続講座」
第3回《高度成長期の運動 1956～》

お 話：岩垂弘さん(ジャーナリスト)
日 時：7月12日(月)14:00～16:30
会 場：「スペースたんぼぼ」
資料代：800円 予約の必要はありません

※7/13(火)学習会 予約の受付を終了致しました。
マスコミが絶対に伝えない「新型コロナワクチンの「危険性」
講 師：岡田幹治さん(ジャーナリスト)

□
■ 1. 中国電力のボーリング調査は、全く進まず
| 補償が必要な権利者を利害関係人に含めないゴマカシ
| 祝島漁民の権利は何故強いのか
| 民の日々の営みが権利を創る
| 民に徹すれば公よりも強くなる
| 連載「権利に基づく闘い」その18
| 熊本一規(明治学院大学名誉教授)

◎ 中国電力は、6月29日から田ノ浦海域に来てボーリング調査のための準備測量を始めようとしたが、一昨年、昨年と同様、祝島漁民に協力依頼を断られて、スゴスゴと帰るだけを繰り返しています(7月2日以降は田ノ浦海域に来ることも休んでいます)。
これでは、7月7日から始めるとしているボーリング調査もできる

はずがありません。

◎ 一般海域占用許可が出ているのに、なぜ測量もボーリング調査もできないのか。

理由は簡単です、「事業者と公の関係（公民の関係）」で占用許可を得ていても、「事業者と民の関係（民民の関係）」で民の同意を得ない限り、事業は実施できないからです。

「公民の関係」では、山口県はゴマカシをして占用許可を出しています。自由漁業の権利者には補償が必要とされている（「公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱」*1に規定されています）のですが、占用許可に必要な「利害関係人の同意」の「利害関係人」に「自由漁業の権利者」を含めずに占有許可を出しているのです。補償が必要な者を「利害関係人」に含めないとは、常識で考えてもおかしなことです。

◎ 山口県は、「利害関係人」は「排他独占的権利の権利者に限る」として、共同漁業権の権利者（免許を受けている山口県漁協）の同意だけでよいとのゴマカシをしているのです（山口県だけでなく、おそらく全国で同じゴマカシをしていると思われます）。

私とそのゴマカシを指摘し、水産庁も私見に同意しているのですが、山口県は「条例をそのように運用してきた」と言い張って、ゴマカシを続けています。

しかし、「公民の関係」ではゴマカシを押し通しても、「民民の関係」で、祝島漁民に補償し、その同意を得なければ事業はできません。

◎ 「民の権利」はなぜそれほど強いのか。それは、民が生活の糧として営みを続けてきたからです。権利とは、公から与えられるものだけでなく、民によって創り出される権利もあるのです。民の営みが続くことは、それほど重たいことなのです。

公共事業が計画されると、住民は「公民の関係」を重視し、免許や許可や認可を出させまいとしたり、出されれば訴訟等で取り消そうとしたり、といった努力を重ねます。

しかし、日本での「公民の関係」は、仲間内のズブズブの関係なので、ほとんど成果をあげられず、住民が疲れ切って敗北する事例が跡を絶ちません。

住民が公共事業に抗するには、「公民の関係」でなく「民民の関係」を重視することが大事です。何も特別なことをする必要はなく、ただ日々の営みを続けていけばよいのです。

そうしていれば、事業者は、今の田ノ浦海域のように、頭を下げて協力依頼をせざるを得なくなります。

そのときに「ノー」と言いさえすればよいのです。

◎ 7月3日、山口県宇部市のNGO「いのち・未来・宇部」主催のオンライン学習会*2が開かれ、「上関原発と漁業権」と題して上記の主旨の報告をしました。

学習会に参加された家中茂氏（鳥取大学、1990年代に石垣島の石垣新空港問題に共に取り組みました）が、その後送って下さったメールに、報告を聞きながら鶴見俊輔氏が「民」に徹底することが重要で、その徹底ができれば戦前のような国の横暴が通らない、といったことを書いていたことを思い浮かべた、と書かれていましたが、おそらく

通底するものがあると思います。

権利者が自らの権利を自覚するとともに「民」に徹し日々の営みを続けること、支援者は権利者の営みを支えること。これが権力に抗するうえでの秘訣だと思います。

注

1. 「公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱」は、憲法29条の「正当な補償」の基準になるものとして昭和37年に閣議決定された要綱で、公共事業の事業者（電力会社も含む）は、それぞれ同要綱に基づき「損失補償基準」を作っています。
2. 報告の際に使用したパワーポイントは私のホームページ (<http://kumamoto84.net>) に掲載しています。

□

- 2. 稼働中原発は9基…玄海3、玄海4、川内1・2、美浜3、大飯3・4、高浜3・4(美浜、大飯、高浜は関西電力、他は九州電力)
| 2021年7月5日現在の原発稼働状況
└── 山崎久隆（たんぼぼ舎共同代表）

電力会社	号機	状態	運転開始日	停止日	出力(万kW)
関西電力	美浜3	運転中	2021.06.29		82.6
	大飯3	運転中	2020.07.05		118
	大飯4	運転中	2019.10.11		118
	高浜3	運転中	2021.03.07		87
	高浜4	運転中	2021.04.13		87
四国電力	伊方3	定検停止中		2019.12.26	89
九州電力	玄海3	運転中	2020.11.21		118
	玄海4	運転中	2021.03.19		118
	川内1	運転中	2020.11.17		89
	川内2	運転中	2020.12.21		89
合計	10基	運転中9基	停止中1基		906.6/995.6

*運転開始日は営業運転開始の日なので原子炉起動の日とは一月程度違いがある。

*運転可能な10基の原発のうち稼働中は9基(90%)で、その出力は995.6万kWに対して906.6万kW(91%)

□

- 3. 7/7(水)東電本店合同抗議集会に七夕(天の川)キラキラを準備
└── 浜島高治（神奈川県在住）

7月7日(水)東電本店合同抗議集会に、七夕(天の川)キラキラを準備しています。

スピーチ演壇の真上に、JR線の電車からも東京電力本店からも見えるキラキラ天の川です。

盛況だった6/18(金)「原発いらない金曜行動」首相官邸前に続き、楽しみに来て下さい。

6月29日の東京電力株主総会で新会長に就任した小林喜光氏(経産省から「三顧の礼」で迎えられた)が「こんなに難しいマネジメントはない」と周囲に漏らすほど、困っているのは東京電力自身です。

「笹の葉さらさら…」を歌って、一緒に解決していきましょう。
当日は、雨がやむことを願います。

※7/7(水)17時より18時「日本原電本店抗議行動」
18:45より19:45「東電本店合同抗議」

□

■ 4. 伊方原発で判明した「宿直勤務者の無断外出」について
| 「伊方から原発をなくす会」が四国電力に抗議文…ほか
| メルマガ読者からの原発等情報2つ(抜粋)
| _____ 黒木和也(宮崎県在住)

1. 「伊方から原発をなくす会」が四国電力に抗議文
伊方原発で判明した「宿直勤務者の無断外出」について
7/3(土)16:24配信「愛媛新聞ONLINE」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/532d6e2a4bfc84dade759f0a63ece3dbabe51f4c>

2. 「原発ゼロでも停電しないことが証明されている。核のごみの
処分場も無いのになぜ動かそうとするのか」小泉純一郎元首相、
政府や電力会社の姿勢を批判
7/4(日)0:47配信「山陰中央新報」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f57659be4a4f9051d2fcbdb89efdad0dc9b16e18f>

□

■ 5. メルマガ読者からのイベント案内(お問い合わせは主催者へ)
| _____

◆7/17(土)オンライン被ばく学習会(第68回)
水俣病に学ぶ 甲状腺がんの因果関係

講演: 津田敏秀さん(岡山大学大学院・教授)

日時: 7月17日(土)午後2時~5時

主催: 放射線被ばくを学習する会

共催: 富山大学科学コミュニケーション研究室

申込先: <https://bit.ly/3vLXRuS>

参加費: 無料

7月17日(土)午後、津田敏秀さん(岡山大学大学院・教授)にお話しいただきます。

福島原発事故から10年。甲状腺がんの原因は何か、未だに確定していません。政府や福島県は被ばく影響を否定し、「過剰診断」が原因と主張しています。

津田敏秀さんは福島県で小児・若年者の甲状腺がんが多発しており、地域差も見られることから、被ばく影響を明らかにする論文を発表されています。

因果関係を直接目で見ることはできません。患者認定をめぐる未だに訴訟が続いている水俣病の例を参考に、甲状腺がんの因果関係はどうしたら分かるのか、疫学の方法についてお話しいただきます。

6. 新聞より2つ

◆九州電力大分支社前 毎日行動10年
大分県の島田雅美さんの毎日スタンディング
賛同する市民20人がかけつけた

大分市の九州電力大分支社前で「原発いらない」と書いたプラカードを掲げる島田雅美さんの「毎日スタンディング」が4日、10年を迎えました。

2011年の福島第一原発事故をきっかけに同年7月から正月を除くほぼ毎日続く行動です。(中略)

賛同する市民約20人が駆け付け、並んでアピールしました。(中略)

「…危険な原発でなく住民の命、子供たちの未来を優先するよう訴え、命ある限り声を上げ続けたい」と決意を語りました。

(7月5日「赤旗」より抜粋)

◆ワクチン供給量 急減 千葉市は予約停止
自治体混乱「来週在庫切れ」「会場確保したのに」
19日からの配分 要望の2割
(7月3日朝日新聞朝刊27面「ちば首都圏」より見出し)

☆ひきつづき、たんぼぼ舎の活動・日刊メルマガ＝「地震と原発事故情報」へのカンパを受け付けていますので、よろしく願い致します。

郵便振込 加入者名 たんぼぼ舎 口座番号 00180-1-403856

☆《事故情報編集部》より

メールマガジン読者からの集会・デモ・講演会のお知らせ、その他投稿(「川柳・俳句・短歌」など)を歓迎します。

1. 「投稿」のテーマは、「原発問題」が中心軸ですが、エネルギー、自然、政治・経済、社会、身近な生活も歓迎します。
2. 原稿に「見出し」をつけて下さい。(「見出し」は1行見出しよりも2行又は3行見出しの方が読む人にとってわかりやすい)
執筆者名(基本的に本名でお願いしています)と執筆者名の後にかっこ書きで「所属・団体名」か「在住県名」を記載して下さい。
例：たんぼぼ花子(たんぼぼ舎)、
たんぼぼ太郎(東京都千代田区在住)
3. 「集会・デモ・講演会等のお知らせ」の投稿に関しては、どの団体・

グループも平等に掲載する基本方針です。
そのため日時、会場、タイトル及び内容、主催者、主催者の連絡先など
必要事項を400文字以内でお送り下さい。
件名に「イベント案内掲載希望」と明記して下さい。
日程が直前にならないよう余裕を持っていただけると幸いです。
メールマガジンへのイベント案内は1回だけの
掲載とさせていただきます。

4. 集会や行動の参加報告等に関しては600文字以内で、
タイトル(見出し)及び本文をお送り下さい。
件名に「メルマガ掲載希望」と明記して下さい。

「投稿」の送付先はたんぼぼ舎の
アドレス「nonukes@tanpoposya.net」です。
なお、お送り頂いた投稿は紙面の都合上掲載できない場合もあります。
ご了解下さい。

-
- ◆このメールマガジンのバックナンバーは、ホームページ
の「メルマガ：地震と原発事故情報」をご参照下さい。
 - ◆メールマガジンをお送りします
たんぼぼ舎では、「地震と原発事故情報」(メールマガジン)を
発信しています。
ご希望の方は、件名を「アドレス登録希望」として、ご自身の
Eメールアドレスからご氏名とともにたんぼぼ舎あてにメールを
送ってください。
違うアドレスから「こちらのアドレスに送って」ということは
間違いの元となりますのでやめて下さい。
登録できしだい発信致します。
 - ・配信先のアドレス変更のご連絡は「旧アドレス」もお知らせ下さい。
 - ・配信削除につきましても以下のアドレスに直接メールを下さい。
たんぼぼ舎のメールアドレス：nonukes@tanpoposya.net
 - ◆携帯電話への送信は、容量が多いためか全文表示できない例があり
ます。

たんぼぼ舎は、月曜～土曜13:00～20:00オープン、
日曜・休日はお休みです。
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-1
高橋セーフビル1 F
TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797
H P <http://www.tanpoposya.com/>
郵便振込 加入者名 たんぼぼ舎
口座番号 00180-1-403856